

平成30年度「魅力あふれる高校づくり推進事業」

各学校における事業概要

山形県では県立学校に対して学校裁量予算を導入し、校長のリーダーシップのもとで行われる各校の課題解決に向けた特色ある教育活動を充実させることにより、魅力あふれる主体的な学校づくりを支援しています。

<西学区>

学校 番号	学校名	事業名	事業内容
			事業実施によって期待される効果
32	鶴岡南山添校	「黒川能」についての学習と、「黒川能」関連行事に関わるボランティア活動	<p>鶴岡市櫛引地区に500年以上伝承されてきた国の重要無形文化財である「黒川能」について学習し、地元の歴史と文化継承に関わる課題などの理解を深める。また、黒川能の上演に関連して、地域の方々と関わり合いを持ちながら様々なボランティア活動を行う。</p> <p>①地域の文化を学ぶことで、地域づくりやボランティア活動、伝統芸能の継承に繋げ、郷土への誇りや思いを定着させ、地域とつながる人材の育成を図ることができる。</p> <p>②生徒は、地域理解の学習をとおしながら学校内外の活動を地域の方々と協働で行うことで、地元の方々からの共感や賞賛を得られ、自己肯定感の醸成に結びつけることができる。</p>
33	鶴岡北	「生きぬく力」を育むキャリア形成教育	<p>1. 「2年生き方講演会（大学模擬授業）」（5月） 大学の先生を招き、模擬授業を一人2講ずつ受講する形式で実施する。2年次生全員が受講しキャリア形成をめざす。</p> <p>2. 「1年生き方講演会（地元企業説明会）」（10月） 高等教育機関卒業後、地元に戻りそこで貢献できる人材としての意識作りを行う。大卒を採用している地元企業を招き、会社の説明や大学で何を学んできて欲しいかを説明してもらう。1年次生全員が受講。</p> <p>3. 「1年1日総合学習」（11月）</p> <p>4. 2を踏まえて実際に地元企業を見学し視野を広げさせる。</p> <p>①高校生活を生涯にわたるキャリア形成の基盤の時期と自覚することで、より充実した毎日を送ろうと意欲が高まる。</p> <p>②人生-職業-大学・学部選択と高校生活がつながり、大学進学の意味を認識して、将来を見通して進路学習に主体的に取り組むようになる。</p>

学校 番号	学校名	事業名	事業内容
			事業実施によって期待される効果
34	鶴岡工業	地域に貢献できる生徒を育成するための工業教育の充実	<p>1. 県内大学での宿泊研究体験に1, 2年生数名を各学科から派遣し、先端技術の研究活動をおとして、本校の探究活動や研究活動のリーダーとしての気概を育てる。また、地元大学で学ぶことにより、本県が育む技術に興味を抱くことや郷土愛を育むなど、キャリア形成の醸成につなげる。</p> <p>2. 課題研究や実習、資格取得等を中心とした、探究・研究活動や実践的活動により、工業教育のさらなる充実をめざす。また、成果を「鶴工ものづくり展示会」や「鶴工研究発表会」で地域に発信する。</p> <p>3. 「鶴工ものづくり展示会」では、ものづくり公開講座を実施する。</p> <p>①キャリア教育の一環として、生徒の生きる力や郷土愛をさらに育むことができる</p> <p>②本校の特色ある教育活動の一端を広く地域に公開することで、学校理解が図られ、地域ニーズの掘り起こしにつながる。</p> <p>③日頃の学習活動で身に付けた知識や技能・技術を地域社会に公開することで生徒の学ぶ意欲や活動意欲につながる。</p>
	鶴岡工業 (定時制)	鶴工定時 外へ出よう —未来につなぐ4年間 学び 体験 コミュニケーション—	<p>1. 学校見学と模擬授業の体験・・・上級学校の見学と模擬授業や講義等を体験する。</p> <p>2. 地域文化と産業の学習・・・本県の産業について見学を通して学ぶ。</p> <p>3. 地域交流の活動・・・地域と関わるボランティア活動を行う。</p> <p>①学校見学と地域産業の学習を通して高校卒業後の様々な可能性を知ることができ、進路を積極的に考えるようになる。</p> <p>②学習と高校生活への意欲が喚起される。</p> <p>③地域での活動を楽しみながら、地域を愛する心が養われる。</p>
36	加茂水産	地域貢献、地域との絆づくりに向けた取組み	<p>1. 淡水性エビ「スジエビ」の教材活用と漁業用餌としての利用研究</p> <p>2. 小学校との種苗放流、出前授業</p> <p>3. 漁業・養殖施設見学</p> <p>4. 鶴岡大産業まつり、県産業教育フェアへの参加</p> <p>5. 地元の水産物を使った製品づくり・製品開発</p> <p>6. 地元の料理人による地元水産物を使った料理講習会</p> <p>7. 海洋教育促進拠点に向けた研究</p> <p>8. 地元漁業体験・漁具作成</p> <p>水産・海洋における各分野の本校の取組みを生かし、地域との絆を深め、海の恵みを活かす人とのネットワークが構築でき、地域社会に貢献できる心豊かなたくましい人間を育成することができる。</p>

学校 番号	学校名	事業名	事業内容	
			事業実施によって期待される効果	
35	鶴岡中央	一人ひとりの着実なキャリア形成	普通科	1. 大学訪問（オープンキャンパス参加） 2. 地元企業訪問 3. 協働的な学習によるテーマ別地域課題学習と発表
			総合学科	1. 産業社会と人間や総合学習、課題研究における体験的・実践的な学習 2. 地域の実態を知り、高校生として地域に貢献できることを考えさせる学習
			普通科	①進路調べ学習の要点を理解でき、その後の志望校決定に活用できる。調べ学習を進める中で、将来像や現在の課題が明確になり、自ら目標や課題解決に向けて行動できる。 ②地域課題を学ぶことで地域に目を向け、その解決に向け行動できる。
			総合学科	①系列の学びをとおして、自己を理解し進路実現の目標を持つ ②学びの成果を地域に発信することで、総合学科に対する理解を深めてもらい、地域に貢献できる人材を育成する。 ③系列間、年次間の連携をはかり協力することで、総合学科の学びを深化させ他者と関わること、社会との関わりを持つ方法や手段を身に着けていく。
37	庄内農業	県産小麦の栽培方法と商品開発及び加工技術の習得	1. 小麦の栽培方法の習得とその利用 (1)地域の先進農家と小麦栽培の体験 (2)小麦の利用と商品開発（米粉製品も含む） 2. 地域の加工業者からの技術指導と商品開発 (1)地域で6次産業を実践者からの技術指導 (2)食品加工企業の視察研修	
			①地域の基幹作物の稲作だけでなく小麦栽培の可能性を高校で取り組むことにより、地域に小麦栽培を普及させることが期待できる。 ②研修、実技指導を受けることにより、本校生徒の進路実現につなげることができる。（本事業に関わった生徒の進路が食品関連企業、または進学者の人数の増加につながる）	
38	庄内総合	自己実現を図るためのキャリア教育	1. 高校3年間を見通しながら、系統的にコミュニケーション能力の向上を図る学習を実施するとともに、県内の大学、企業、関係機関等との連携を深めながら、本校生徒の実態を考慮した効果的な学習プログラムの検討を進める。 2. キャリア総合1・2・3の授業の中で、1年次は「話す力・聞く力」の育成、2年次は「思いを伝える力」の育成、3年次は「面接に通じる表現力」の育成をテーマに展開する。 ①年次毎に全員が発表を行い一人一人がコミュニケーション能力を磨く。さらに平成31年1月には総合学科発表会を開催し、町民の皆様へ1年間の学びを報告する。様々な体験をプレゼンテーション資料にまとめ、伝える経験を通して一人ひとりの自信につながる。 ②地域の方々に庄内総合高校の活動を周知する機会となり、学校の魅力を高めることができる。	

学校 番号	学校名	事業名	事業内容
			事業実施によって期待される効果
40	酒田西	個に応じたコース制の充実と探究学習を活かしたキャリア教育の実践	<p>芸術コース：「目からウロコ」の芸術実技研修美大まるごと体験合宿 探究学習：（1年次）「社会と情報」：統計グラフコンクール出品 （理系コース）：農学を知ろう （1年次）「学問探究」：外部講師によるプレゼンテーション方法を学ぶ</p> <p>①芸術全体の見方・考え方を深い視点で捉える力の育成 ②主体的、協働的な活動を通して、課題解決方法を身につけるとともに社会人としてのあり方や進路意識の向上と深化 ③地域の歴史、文化とのつながりの理解 ④プレゼンテーション力の向上 が期待される。</p>
	酒田西 （定時制）	コミュニケーション能力育成事業	<p>1. 地域コミセン文化祭への参加 2. 食育（プランターによる野菜作り・調理実習） 3. 進路研修 4. 地域探訪</p> <p>①コミュニケーション能力の向上、社会性の育成 ②キャリアプランニング能力の向上 が期待される。</p>
41	酒田光陵	「総合的な地域本部」設立プロジェクト	<p>1. 酒田まつり等、地域行事への協力及び参加体制の拡充 2. 一般社団法人「SKIES」運営機構の整備と事業への支援 ※SKIES：酒田光陵 社会のための世代間事業 Sakata Koryo Intergenerational Enterprise of Society 3. 学校応援ボランティアによる教育活動の充実 4. 近隣小学校児童・中学校生徒へのものづくり等体験指導</p> <p>地域社会の異世代間の交流をとおして、地域社会を支える一員という自覚が自己肯定感とともに醸成される。また、学校と地域との双方向の活動により学校の魅力を地域にPRしながら、開かれた学校づくりを効果的に進めることができる。</p>
42	遊佐	社会的自立を目指し、キャリアデザインしよう	<p>1. 学校設定科目の充実と授業支援 2. 外部講師によるキャリア学習 3. 人とつながる人間力の育成と向上 4. 外部講師とPTAによる模擬面接会</p> <p>①外部講師とPTA関係者を積極的に活用することで複眼的な思考を育み、キャリアデザインに取り組む主体性の向上と進路実現 ②学ぶことに対する理解の深化と意欲の向上 ③自他を大切にする人間性の成長と自己肯定感の高まり が期待される。</p>